



2020年度 大学コンソーシアム京都SDゼミナール募集要項

2020年3月

公益財団法人 大学コンソーシアム京都

1. はじめに

18歳人口のさらなる減少や人生100年時代の到来、第4次産業革命の高度化による Society5.0、グローバル化の進行など、大学を取り巻く環境は激しく変化しています。大学職員には、次代を見据えた確かな舵取り能力と、環境の変化や社会のニーズを正確に分析し、それを組織における意思決定や社会的使命である教育・研究の推進に反映させる能力が求められています。

「大学のガバナンス改革の推進について」(2014年 中央教育審議会大学分科会審議まとめ)では、「事務職員の高度化による教職協働の実現」が挙げられ、事務職員が教員と対等な立場での「教職協働」によって大学運営に参画し、そのためには企画力・コミュニケーション力・語学力の向上等をより組織的・計画的に実行していくことの重要性を指摘しています。

また、「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」(2018年 中央教育審議会)においては、「2040年を見据えた高等教育と社会の関係」として、地域全体の維持・発展や地方創生において大学が果たす役割は重要であり、教育研究成果を活用した産学連携等により、地域における国際交流の推進や国際化への対応の拠点となることにも期待されています。

本SDゼミナールは、2017年度のSD義務化に先駆けて2015年度から開講しており、6期生の受講生を募集します。全8回の講義受講と、公開プレゼンテーションでの発表、修了レポートの執筆を通じて、将来の大学運営を自律的・主体的に担う大学職員の育成を支援することを目指しています。

皆様のご応募をお待ちしております。

2. 研修の目的

- ・ 大学職員として必要な知識を体系的に習得できるカリキュラムを提供し、今後の大学運営を担ういわゆる「プロフェッショナル」職員の育成を目指す。
- ・ 5年以上の職務経験を積んだ職員を対象とし、ステップアップをめざしている職員の導入的な研修プログラムとする。
- ・ 受講生が大学の枠を越えた人的ネットワークを形成し、所属大学において、今後の大学間連携や交流のキーパーソンとなるような機会を提供する。

3. 研修の到達目標

- ・ 大学職員として必要な基礎知識(高等教育制度、学生実態の把握、大学と社会との関連等)を得る。
- ・ 他大学の職員と共に学び、情報交換することを通じて、自大学と異なる事例や取り組みに関する見識を深める。
- ・ 受講生間で親交を深め、大学の枠を越えた人的ネットワークを形成する。
- ・ 相互に切磋琢磨する環境の中で、職業人として自律的に学習・考察する態度を身につける。

4. 実施概要

開催日：2020年6月6日(土)・13日(土)・20日(土)・27日(土)

2020年7月4日(土)・11日(土)・18日(土)・25日(土)

2020年9月5日(土)

会場：キャンパスプラザ京都

5. 募集人数

20名

6. 参加条件

SDゼミナール開始の時点で、職務経験5年以上の者(内、大学職員としての職務経験が3年以上。)

7. 研修概要

研 修 概 要
<p>【オリエンテーション】6月6日（土）13：45-15：15</p> <ul style="list-style-type: none">・SDゼミナールの受講について（事務連絡）・SDゼミナールの受講の心構え（修了生からのメッセージ）
<p>【第1回】6月6日（土）15：30-17：30 アカデミック・ライティングの基礎 —「問題意識」を具体的な「問い」に変換する方法とは？— 講師：坂本 尚志 氏（京都薬科大学 一般教育分野 准教授）</p> <p><講義の目的・到達目標> この講義では、レポートに代表されるアカデミックな文章の書き方の基礎を、「問い」の立て方、扱い方に焦点を当てて学びます。 講義やグループワークによって、「問い」に基づいた一貫した議論の流れを作れるようになること、そして、業務の中でのこうした方法の応用可能性を、討論を通じて発見することを目的とします。</p>
<p>【第2回】6月13日（土）13：45-16：55 大学の歴史と制度 —大学の歴史的展開と大学改革の動向— 講師：江原 武一 氏（京都大学 名誉教授）</p> <p><講義の目的・到達目標> 講義の目的は、大学の歴史的な歩みと制度的な特徴をふまえて、日本の第二次世界大戦後の大学政策や大学改革の動向と課題を理解し、所属大学の改革の取組や成果、課題を考察する手がかりを得ることです。具体的な獲得目標は次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none">① 大学の歴史的展開や日本の大学改革の動向と課題を考えるための基本的な見方や用語を理解し、活用することができる（知識）。② 所属大学における大学改革の課題や方策を、自らの経験や知見をふまえて系統的に理解し、主体的に議論することができる（価値観・態度）。
<p>【第3回】6月20日（土）13：45-16：55 アカデミック・リテラシーと修了レポート —アカデミック・リテラシーを理解し、リサーチを開始する— 講師：村山 孝道 氏（京都文教大学 学長企画部 教学企画課 課長）</p> <p><講義の目的> 本講義では、9月の公開プレゼンテーション、10月の修了レポートの概要とレベル感を共有し、受講生の具体的なアクションにつなげることを目的とします。そのために、各人の研究テーマやリサーチクエスチョンを持ち寄り、相互に磨き合います。 また、SDゼミナールの特徴の一つであるアカデミック・リテラシーについて理解を深め、プレゼンテーションやレポートはもちろん、日常の業務に活用することを目指します。</p> <p><到達目標></p> <ul style="list-style-type: none">・公開プレゼンテーション、修了レポートの概要とレベル感を説明出来る。・自身の研究テーマ及びリサーチクエスチョンを説明出来る。・アカデミック・リテラシーの意味や意義、業務との関係を説明出来る。
<p>【第4回】6月27日（土）13：45-16：55 大学の戦略とリーダーシップ —戦略を創出する組織づくり— 講師：吉武 博通 氏（東京都公立大学法人 理事／筑波大学 名誉教授）</p> <p><講義の目的・到達目標> 大学改革を教育研究の高度化や経営基盤の強化を通じて、個々の大学の社会的存在価値の向上に繋げるためには、「戦略」、それを遂行する「組織」、それを担う「人材」の3つの要素が必要である。この前提にたつて、大学における戦略の意味を問い直すとともに、戦略を遂行し、新たな戦略を創出する組織のあり方、その担い手である大学スタッフに期待される役割と育成について、多面的な視点から共に考える機会を提供する。</p>

研修概要

【第5回】7月4日（土）13：45-16：55

大学と高大連携・高大接続 ―高大接続改革のめざすもの―

講師：荒瀬 克己 氏（関西国際大学 基盤教育機構 教授）

<講義の目的・到達目標>

- ・高大接続改革（高等学校教育・大学教育・大学入学者選抜の一体的な改革）の趣旨について理解を深める。
- ・そのうえで、各大学の現状をふまえ、どのような取り組みが必要かについて考察し提案するための基礎力を養う。

【第6回】7月11日（土）13：45-16：55

大学と社会 ―地域連携の意味と大学の役割―

講師：深尾 昌峰 氏（龍谷大学 政策学部 教授）

<講義の目的・到達目標>

人口減少時代、超高齢化社会を迎える中で、社会が求める大学の役割、地域社会に根ざす大学のあり方が問われている。これまでの大学連携や地域連携の事例をもとに、これからの大学の役割を考え、スタッフ部門の役割と求められる能力について考える。

【第7回】7月18日（土）13：45-16：55

大学教育の質保証に向けた教学マネジメント

―自校の教学マネジメントを推進していくための討議と助言―

講師：西野 毅朗 氏（京都橘大学 教育開発支援センター／現代ビジネス学部 経営学科 専任講師）

<講義の目的・到達目標>

1. 教学マネジメントに関わる基礎知識を習得する。
2. 自校の教学マネジメントの状況を、他大学と比較しつつ把握する。
3. 自校の教学マネジメントを今後推進していくための課題と解決策を立案する。

【第8回】7月25日（土）13：45-16：55

大学と高等教育政策 ―高等教育政策の側から大学を見ると―

講師：松坂 浩史 氏（文部科学省 高等教育局 私学部 私学行政課長）

<講義の目的・到達目標>

大学を取り巻く環境が大きく変化する中で、様々な大学改革を進めるための高等教育政策が推進されている。大学側からは、「改革疲れ」ということも言われる中で、なぜこれらの高等教育政策が打ち出されているのか、その背景について考えてみる。

今後、大学職員として働く中で、高等教育政策の基礎知識を知るとともに、政策を「見る目」を養うことを目的とする。

【公開プレゼンテーション】9月5日（土）13：00-18：00

※ 受講生の人数によって、終了時間は異なります。

※ 上記、研修概要については予定であり、変更となる場合がございます。

8. SD ゼミナール受講にあたって

受講後、以下3点を所定の期日までに提出していただきます。具体的な個人の研修テーマを持って、講義や演習に臨んでください。提出期日や内容については、オリエンテーションにおいてご説明いたします。

- ① 中間報告書
 - ② 公開プレゼンテーション資料
 - ③ 修了レポート
- ※ 毎回講義終了後に、アンケートにお答えいただきます。
ご協力いただきますようお願いいたします。

9. 修了要件について

原則として、下記の全ての条件を満たした受講生に「修了証」を授与します。

<修了要件>

- ① 公開プレゼンテーションを含む講義9回のうち、7回以上の出席
※ 欠席された場合、講義を収録したDVDをお貸しいたします。ご覧いただきレポートにまとめていただきます。
- ② 修了レポートの提出
執筆要領：形式 Microsoft Word (A4版) 横書き 40字×30行設定
分量 6ページ以上10ページ以内 (図表・参考文献等を含む)
※ 事前に申し出があった場合に限り、10ページ以上可
提出締切日：10月26日(月)
執筆要領等の詳細な内容については、オリエンテーションおよび受講期間中にご案内します。
修了レポートは、報告集として「SD ゼミナールレポート集」を発行いたします。(12月発行)

10. フォローアップ研修について

SD ゼミナール受講後の翌年(2021年5月予定)に、修了生全員を対象としたフォローアップ研修を実施いたします。SD ゼミナールを受講し、その後業務にどのように活かされているのか、可視化・言語化を行い、お互いの変化や成長・達成を皆さんと振り返ることを目的としています。日程については、決まり次第ご案内いたします。

また、修了後もフォローアップの機会を設けております。(例：SD ゼミナール、SD 共同研修プログラム、SD フォームの講師、ポスターセッションの発表、教まちやNewsのスタッフレポート執筆等) 随時お知らせいたしますので、積極的にご活用ください。

11. シラバスおよび教材について

受講生には、受講決定通知と同時に、シラバス(教材・参考文献リストを含む)を配布します。また、初回講義時のオリエンテーションにおいて、具体的な研修プログラムについて説明いたします。

12. 受講申込み方法について

下記の手順に沿ってお申込みください。

	機関申込	個人申込
【STEP 1】 お申込み	「受講申込書」に必要事項を記入のうえ、所属の大学等を通じてメール添付にてお申し込み下さい。 ※ 同一大学より複数名の応募がある場合は、「優先順位表」に優先順位順に申込者名を記入のうえ、「受講申込書」と一緒にお申し込み下さい。 注意:各大学等での取りまとめにあたっては、下記の申込締切日に間に合うよう、学内集約期日の設定をお願いいたします。	「受講申込書」に必要事項を記入のうえ、メール添付にてお申し込み下さい。 注意:申込に際して、所属大学が機関申込を採用していないか、事前にご確認下さい。
	下記のホームページより、「受講申込書」および「優先順位表」フォームをダウンロードのうえ、メール添付にてお申し込み下さい。 ※ 個人申込の方は「優先順位表」は不要です。 【2020年度SDゼミナールホームページ】 http://www.consortium.or.jp/project/sd/administrator	
	申込先: sd@consortium.or.jp (■を@に変えてお送り下さい。) メール送信時の件名: 【SDゼミナール申込】 (所属・氏名等)	
	申込締切日: 2020年5月7日(木)	
【STEP 2】 選考	受講申込書に基づき、書類選考を行います。	
【STEP 3】 受講可否のお知らせ	5月中旬頃に、所属大学等を通じて本人宛にメール通知いたします。	5月中旬頃に、本人宛にメール通知いたします。
【STEP 4】 関係書類送付	受講の許可通知後、下記の関係書類をお送りいたします。 ・受講のご案内 ・受講料の請求書 ・シラバス	
【STEP 5】 受講料のお支払い	所定の期日までに、当財団の指定口座にお振込みいただきます。	

13. 受講料について

大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学の方 15,000円

上記以外の方 60,000円

※ 一度納入された受講料は、返金等には応じられませんので、予めご了承下さい。

14. お問い合わせ先

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 教育開発事業部 (SD事業担当)

所在地: 〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都

TEL: 075(353)9163 FAX: 075(353)9101

e-mail: sd@consortium.or.jp

以上